



たきざわ

えがお いっぱい たきざわ小

- わかるまで考える子
- 思いやりのある子
- 元気で活動する子

第 6 号

令和7年6月6日（金）



陸上競技大会に向けて



6月25日（水）に開催される一関地区小学校陸上競技大会に、5・6年生が参加します。運動会が終わってすぐにスタートした練習は、全体練習から種目別練習が主になりました。練習日は限られていますが、それぞれの種目で、より速く、高く、遠くへと、自己ベスト記録を目指して一生懸命練習に取り組む姿が見られます。練習期間は、ご家庭での体調管理や励ましをお願いします。

選手を代表してチームリーダー6年千田陽花さん、橋本悠希さんに、練習、本番にかける意気込みを聞いてみました。

陽花さん「本番は練習より速く走れるように、いつもの練習時間を無駄にしないように頑張りたいです。」

悠希さん「最後の一步を踏み込めずバトンパスをミスしてしまうことがあるので、そこをきちんと出来るように頑張りたいです。」



滝沢小学校校章の由来

ご存じのとおり、滝沢小学校の校章は、葉を象った形をしています。本校に着任してからずっと、その由来を知りたいと思っていたところ、先日、とあることからそのことを知ることができました。

創立百二十周年記念誌「滝沢のあゆみ」には、「昭和29年9月、校舎新築を記念して、PTAの協力を得て制定したものである。滝沢は、古来和紙の製造が盛んで地方の有力な特産であった。校章は、その原料である「楮（こうぞ）」の葉を象り、地方を象徴したもので、同校岩淵教諭考案、一関中学校照井教諭補筆によって完成した。」と記されてあります。地域の歴史とゆかり深いものであることがわかりました。



楮（こうぞ）の葉
東海林英四郎様提供



ことばについて考えよう



子どもたちの学校生活を見てみると、友達をあだ名やニックネーム、呼び捨てで呼んでいる様子がよく見られます。「あだ名やニックネーム、呼び捨てで呼ぶのは親しみがあっていい」、「『さん』付けで呼ぶのは堅苦しい」、「呼び方は自由ではないか」というご意見もあると思いますが、相手のことを大切にすると表れとして、友達を呼ぶときには、「さん」や「くん」、「ちゃん」を付けて呼んでほしいと思います。ただ、「さん」、「くん」、「ちゃん」付けを一方的に求めるだけでは、子どもたちは、なぜそうした呼び方がよいのか分からず、単なる押し付けになってしまいます。そこで、今月の全校朝会で、子どもたちに次のような理由や背景を説明し、みんなで、「さん」、「くん」「さん」付けで呼ぶことの意義を考えてみました。

人の感じ方はそれぞれ違うので、今の呼ばれ方をよいと思っている人もいます。反対に、実は、今の呼ばれ方を嫌だなあとと思っている人もいるかもしれません。呼び捨てで呼ばれると、なんだか見下されているようでいやだなとか、ニックネームやあだ名で呼ばれると、ちゃんと名前と呼んでほしいなとか… 呼び方一つで相手を嫌な気分にしてしまうこともあるかもしれません。

廊下に、このようなポスターが貼ってあることを知っていますね。（児童会作成のポスターを提示）

「さん」や「くん」、「ちゃん」を付けて呼ぶのは、相手を尊重する呼び方です。わかりやすく言うと、相手のことを大切に思う気持ちのこもった呼び方です。

そして、今の世の中は、ジェンダーフリーとか男女平等という考え方から、男の人も女の人も、「さん」を付けて呼ぶことが多くなっています。「さん」付けで呼ぶのは、誰もが平等で、公平な呼び方です。

みなさんも、友達の呼び方について、後でもう一度じっくり考えてみてください。「相手のことも大切に」の心で考えてみましょう。

ちなみに、「さん」付けで呼ぶことには、次のようなメリットもあるそうです。「子ども同士のトラブルが減る」「トラブル減ったり、未然に防いだりすることから、学習に集中することができる」「丁寧な言葉遣いを心がけ、心も穏やかになる」「密かに「嫌だな」と思っていた呼び方で呼ばれることがなくなる」「いじめを抑止することにつながる」など。

相手を尊重するという素地を育むことは、人を攻撃するような言動を取らないことにつながります。様々な考え方があるとは思いますが、学校は一つの「社会」であること、子どもたちの多様性を尊重するということを鑑み、ご家庭の皆様にも、ご理解の程よろしく願いいたします。



1年生から6年生まで、縦割り班のみんなで考えてみました。

5月の全校朝会では、「自分も相手も笑顔になる言葉」＝「スマイル言葉」について全校のみんなで考えてみました。

滝沢小学校のスローガンは、「えがお いっぱい たきざわ小」です。今日は、滝沢学校がもっと笑顔いっぱいの学校になるために、みんなで一緒に考えてみたいことがあります。それは、言葉についてです。

「友達に言われてうれしい言葉はどんな言葉ですか。」

「ありがとう」「おはよう」「いっしょにあそぼう」「いいね」「がんばろう」「ナイス」「すごいね」など…

言葉には、良くも悪くも大きな力があります。スマイル言葉は、人をうれしい気持ちにしたり、元気にしたり、勇気付けたりします。でも、言われて嫌な言葉は、人を叩いたり、蹴ったりする暴力と同じくらい、ときには、それよりももっと人を傷付けてしまうことがあります。（中略）

みんなで、滝沢小学校にスマイル言葉を広げていきましょう。相手を大切に思う気持ちを言葉で伝えていきましょう。それが、笑顔いっぱいの学校につながります。